

にしっこ 西っ子のみなさんへ 50

10月6日

ノーベル賞発表の時期を迎えました。ノーベル賞の科学分野は毎年10月初旬の月曜日～水曜日にかけて、医学生理学・物理学・化学の順に日本時間の午後6時半ごろから発表されます。日本人も多くの方が候補者（いつ受賞してもおかしくないと考えられている人）として上がっています。今年は、どなたが、どんな功績が受賞するのでしょうか。



ノーベル賞は、ダイナマイトの発明者として知られるアルフレッド・ノーベルの遺言に従って1901年から始まった世界的な賞です。現在は、物理学、化学、生理学・医学、文学、平和および経済学の「5分野+1分野」で顕著な功績を残した人物に贈られます。

《遺言書からの抜粋》

私の全財産は、以下の方法で処理されなくてはならない。私の遺言執行者によって安全な有価証券に投資された資本でもって基金を設立し、その利子は、毎年、その前年に人類のために最大の貢献をした人たちに、賞の形で分配されるものとする。この利子は、五分分され、以下のように配分される。一部は、物理学の分野で最も重要な発見または発明をした人物に、一部は、最も重要な化学上の発見または改良をなした人物に、一部は、生理学または医学の領域で最も重要な発見した人物に、一部は、文学の分野で理想主義的傾向の最も優れた作品を創作した人物に、そして一部は、国家間の有効、軍隊の廃止または、削減、および平和会議の開催や推進のために最大もしくは最善の仕事をした人物に。

イタリアの化学者、アスカニオ・ソブレロが初めて合成に成功した「ニトログリセリン」。この物質は、わずかな振動で爆発することもあるため、取り扱いにはきわめて難しいが、爆発力は強力で、一滴を加熱しただけでガラスのビーカーが割れて吹き飛ばすほどの威力がありました。そのため、ソブレロは危険すぎて爆薬としては不向きであると判断しました。

ノーベルは、この危険な物質「ニトログリセリン」を珪藻土にしみ込ませることで安定化させました。さらに改良を加え、雷管を発明することで、爆発をコントロールすることに成功しました。これにより、ノーベルは巨万の富を得ることになります。

ダイナマイトの発明により、土木工事に携わる人々の安全性は格段に向上したのですが、ダイナマイトは戦争にも使われるようになり、多くの人の命を奪うことになりました。

そのため、ノーベルは上記のような遺言を残し、人類（多くの人々）のためになる発見や発明、功績を残した人を称える賞、ノーベル賞がつくられたのです。

ノーベル賞の授賞式は、12月10日（ノーベルの命日）に行われますが、授賞式の夜に行われている晩餐会については、今年は新型コロナウイルスのため中止だそうです。

